

# 自蹊庵便り

令和三年 如月

NO 148

（地球さんへのラブレター）

小さな村の者より

令和三年の新年は、ここ九十九里浜近く東金では、澄みきった空の下穏やかな年明けにございました。

地球さんにお尋ねしたいことが余多あまたございます。この新型コロナウイルスが世界中を大暴れているのは、地球さんが人間さんを怒っているからですか？ 便利さ快適さを急ぐあまりに、沢山のゴミを出し、温暖化にストップをかける手立てをしてこなかったことを怒っているのですか？

どうか怒りを沈めてくださいませんか？ ゲリラ豪雨も大型台風も人間さんへの警報ですよね。

人間さんは経済的な豊かさだけを求め続け、自然を守ることを後回しにしているのですよね。豊かさと便利さを求め続けてきた結果、人間さんの営みと大自然の営みのバランスが崩れかけているのですよね。だから世界中で大暴れして人間さんに訴えているのではありませんか？

私にはそのように思えてなりません。

私は、長い間茶事に携わってきている者として、食からの目線で心を痛めている事が多々あります。

海の幸、山の幸、土からお人の口にかかる近い仕事をするかが、常日頃の働きどころであるだけに目につくこと、気になることが多いのかもしれませんが、食品産業界花盛り：と云った趣にて、これらの食品加工工程においても温暖化ガスを過走（オーバーラン）させていること多大であるかと…？

口から入るもので命は守られるという単純明解な答えを手繰り寄せてみれば、食品の作り方の見直しも必要なのでは…。

また食し方、いわゆる何を口にし、食べるかという食生活の見直しも大切などころにきているのでは…？

長びくコロナ禍の中で、私達は少なくとも今迄の日常を取り戻す手立てを工夫しながらも、共存する手立てをも考え始めなくてはならないのかもしれないですね。

ここ千葉県海辺にもテレワークのライフスタイルに移行する人々が増え始めています。

企業側も消費者側も地球さんを痛めてしまふようなものは、作らない、使わない、買わない…という、一人一人の意識を育てなければいけないところまできているのは…。生活の立て直しをこのコロナ禍だからこそ考える時間ができ、見直すチャンスかもしれませんね。

家にいる時間が多くなる分、多くのゴミが出されているのも気になります。家を取り回しに、片付くことは、元気の気を取り込む力にもなり良いことですが、なぜか、片付けイコール捨てる、地域の焼却炉行きも温暖化を加速させていませんか。リサイクルショップはメンテナンスも含め、ふっと息を吹きかけて蘇る店なども、この機会に弾みを受けて、充実させて欲しいのですが…。

一昨年のドイツ紀行の折、大きな農家のオーブンは、ゴミを燃やす設備と一体化さ

れ、部屋を暖め、料理ができ、オーブンも使え、上段は保温性タイルテーブルとしても使え、いつも温かいコーヒー等が飲めるような一挙両得どころか五得ほどの活躍をするカマドに感動したものです。

無駄なものは何一つないようなシンプルライフがそこにはありました。

私達も近い将来、地球さんに喜んでもらえるような生活を今すぐにも実行できるところから始めなければいけないところにきているのではないのでしょうか…。

地球さん、聞いてくださいな！日本は旨し水豊かな国ゆえに、少しばかり危機感が乏しい国のようです。でもね、とても優しい民族なのです。智慧も沢山持っている優れた民族のはずなのです。どうしたら地球さんが喜ぶ生活を取り戻すことができるのでしょうか…。

この美しい四季折々の豊かな恵みを守ることができるといいですね…。

京都の紅葉も温暖化の影響で、昔ほど美しさは望めなくなってきました。(それでも昨秋は久々に美しくうございましたが…)

事ほどさように、地球さんに喜んで頂ける手立てというもの、食品産業も農業もあ

らゆる企業と手を取り合って、これ以上環境を悪化させない手立てを!!

私達一人一人にあつては、いかにゴミを出さない生活ができるか…。

物を作る起業家さん達には、生産過程でどれほどのクリーンさを保てるかなどのポイントラインなどの基準も必要なのですね…。

このコロナ禍非常時は、地球さんからの沢山のメッセージを発信してくれているようでありませぬ。

地球さん、どうか御慈悲をもって御機嫌を直してくださいませんか…。私達人間さんも一人一人が今できること、しなければならぬことにウスウス気付いてはいるのです。大切なものは皆、足許にありますよね。足許にある玉砂利を砂利のままにしてしまうか、ダイヤモンドに変えることができるかは私達一人一人の意識ですよね…。地球さんあと一分聞いてくださませんか？

私が、よく講演先でお話しする食についてです。食は命の源です。食がその人を作ります。性格も人格も…。ですからその人の食のあり方はその人の文化なのです。家庭の食はその家の文化なのです…と。

確かなものを口から、命は口から入るもので守られます。どうぞ免疫力を高める献立を！それにはできるだけ加工されていない、季節の旬の力のある野菜、肉、魚介を口にするよう心掛けて頂ければ嬉しいです。地球さん、あなたを守る手立てを食から発信していく元年にしていきたいと思ひます。

五年先、十年先に温暖化ストップのクリーンなビジネス社会が健全に成り立っていきますように!! 個々においてはまずは食品ロスをなくすこと、ゴミを出さない生活をすること、この個々の個という意識多大多大!!

地球さん聞こえていますか？ですからどうぞこれ以上コロナで苦しむ人々が増えませんかように、また今、ベッドの上で苦しんでいる世界中の多くの方々にも、医療従事者の皆様にもどうぞ力をお貸しくくださいますように…。

地球さん、どうかよろしくお願い申し上げます。

地球の極東の小さな小さな島国  
日本という国の小さな小さな村  
の者からのラブレターでした。

令和三年一月十日